

令和2年度基幹型及び在宅介護・地域包括支援センター業務報告

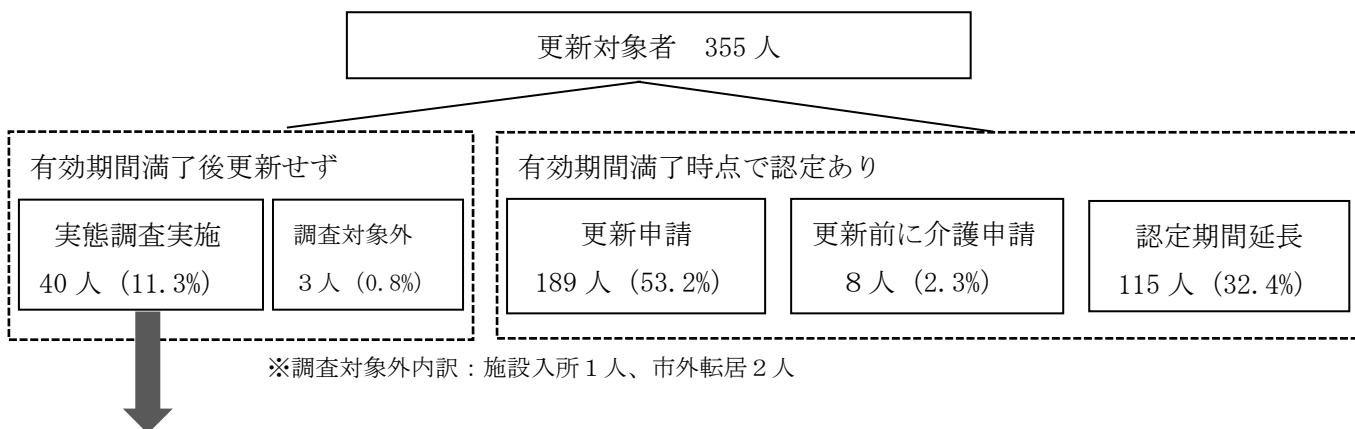
1 介護サービス未利用者の定期的な実態把握

(1) 調査期間

令和2年4月から令和3年3月まで

(2) 調査対象者及び調査時期

前回の介護度が要支援1・2の介護サービス未利用者。令和2年5月末から令和3年4月末に要介護認定の有効期間満了を迎える更新時に、更新申請を行わなかった者に対し在宅介護・地域包括支援センター職員が訪問または電話にて実態把握を行った。



(3) 調査項目及び調査結果

	質問項目	はい	いいえ	未回答
1	1. この1年間の体調変化がありましたか	10 (25.0%)	29 (72.5%)	1 (2.5%)
2	1で「はい」と答えられた方→それはどのようなことですか ・腰骨骨折・腰痛がある・以前に比べるとつまずきやすい・腰痛や足の痛みで歩きづらくなった・左大腿骨人工骨頭置換で入院・肺癌ステージIと診断され放射線治療をした・立ち上がる時に何かに掴まらないと立ち上がりにくくなった・大動脈弁狭窄症の手術・記入なし2			
3	3. 身の回りのことをご自身でできますか	39 (97.5%)	0	1 (2.5%)
4	世帯構成	ひとり 13 (32.5%)	高齢者のみ 15 (37.5%)	その他 12 (30.0%)
5	生活のお手伝いをしてくれる人はいますか	38 (95.0%)	2 (5.0%)	0
6	15分くらい続けて歩いていますか	33 (82.5%)	7 (17.5%)	0
7	週に1回以上は外出していますか	35 (87.5%)	5 (12.5%)	0
8	普段就労や介護予防事業等に参加していますか	13 (32.5%)	26 (65.0%)	1 (2.5%)
	8「はい」の内訳 就労2人(5%) コミュニティセンターでの活動1人(2.5%) テンミリオンハウス1人(2.5%) 地域健康クラブ1人(2.5%) 高齢者総合センター各種講座2人(5.0%) 民間のスポーツクラブ4人(10.0%) その他3人(7.5%) ※その他内訳：折り紙教室、大学でラジオ体操、おとばサロン、ロハズの会			

9	日常生活の中で、気になるような物忘れがありますか	4 (10.0%)	35 (87.5%)	1 (2.5%)
10	体調が悪い時や災害時などに、手助けしてくれる家族や親戚、知人等がいますか (11は緊急連絡先記入)	39 (97.5%)	0	1 (2.5%)
12	定期的に通院をしていますか (13は通院先記入)	38 (95.0%)	1 (2.5%)	1 (2.5%)
14	定期的に内服薬を処方されていますか	38	1	1

(4) 次回の訪問時期

区分	訪問時期	人数 (割合)
A	1か月後	0
B	3か月後	0
C	6か月後	8 (20.0%)
D	1年後	7 (17.5%)
E	実態把握終了	25 (62.5%)

- ・次回訪問時期を「C（6か月後）」とした対象者8人は、調査項目6の「15分くらい続けて歩いていますか」、調査項目7の「週に1回以上は外出していますか」において、両項目共「はい」と回答している。

(5) 訪問時の対応

- ・訪問時、37人の調査対象者に「在宅介護・地域包括支援センターの連絡先」を周知した。
- ・サービスの利用要件に該当する方18人には「レスキューヘルパー（高齢者緊急訪問介護）事業」、15人には「高齢者安心コール事業」の案内を行った。

(6) 実態調査後新規申請状況

- ・実態調査を実施した40人のうち、新規申請に至った人はいなかった。

(7) 令和2年度の課題

「新型コロナウイルス感染症に係る要介護認定の臨時的な取扱いについて（その4）」（令和2年4月7日は厚生労働省老健局老人保健事務連絡）に基づき、本市においても本人が希望する場合、要介護認定等の有効期間延長について対応をとってきた。そのことも影響してか、認定期間延長者115人は全更新対象者の32.4%になる。この認定期間延長者の実態把握とアプローチが課題となっている。